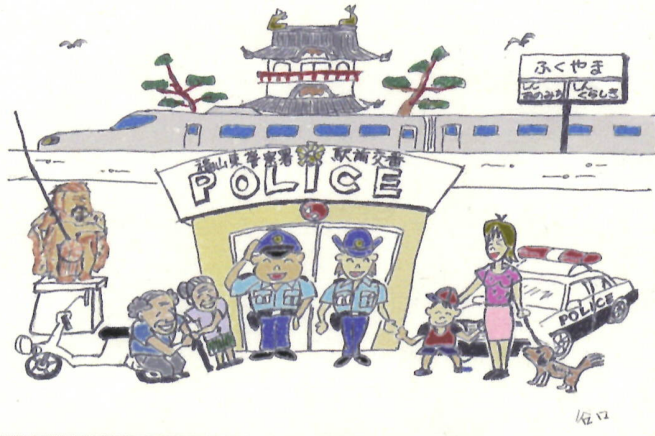


1 安全安心ステーションとしての交番の移設



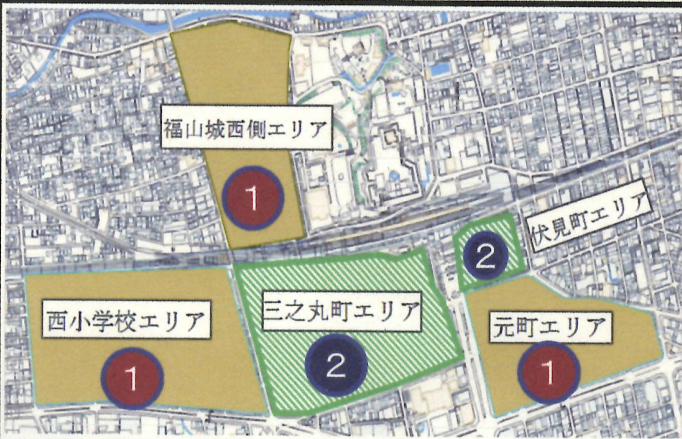
施策の概要

「魅力あるまちづくり」と「安心安全の確保」を両立させるため、本年5月に締結した「安心安全な福山駅前のまちづくり協定」の看板施策として、福山市の玄関口である福山駅前(釣人の像付近)に、市民を守る安全安心ステーションとしての交番を移設整備するもの。

【施策の必要性】

- 『魅力とにぎわいのあふれる福山駅前』を実現するためには、同地区の安心安全の確保が絶対条件であり、可能な限り早い段階から、福山駅前の目立つ場所に、安心安全の象徴である魅力ある交番を整備し、福山市民や福山駅前に集う人々の安心感の醸成を図る必要があること。
- 犯罪や交通事故が起こりにくい環境づくりのためには、安心安全の象徴たる交番の整備が不可欠であること。
- 警察関係機関・団体のほか、福山市民からも、福山駅南側に、安心安全のシンボルとなる交番の整備を要望する声大きいこと。
- 現在の駅前交番は、築50年を迎え、老朽化が進んでいる上、パトカーの駐車場が無く、また、来訪者用の駐車場もないことから、市民が来訪する際、近隣の駐車場を探さなければならない状況であること。

2 福山駅前エリアにおける「ゾーン30」規制の導入



施策の概要

『魅力とにぎわいのあふれる福山駅前のまちづくり』を実現するため、交通事故の起きにくい環境づくりの一環として、段階的に「ゾーン30」規制を導入し、歩行者に優しい交通環境を整備するもの。

【施策の必要性】

- 「福山駅前再生ビジョン」では、福山駅前エリアでの休眠不動産を活用したリノベーションや公共空間である道路を活用したイベントによって、魅力とにぎわいのある福山駅前を目指しているが、これを実現するためには、交通事故防止対策はもとより、歩行者に優しい交通環境の整備は絶対条件であり、道路管理者としての福山市、交通管理者としての警察の連携により、早急に「ゾーン30」規制の導入を進める必要があること。
- 本年2月には「元町エリア」において、3歳の女児が犠牲となる死亡事故が発生しており、今後、同地区において、このような悲惨な事故を二度と起こさないためにも、その整備を優先的に進め、規制だけではなく、視覚的にも歩行者に優しく、また、魅力ある福山駅前エリアにふさわしい景観を有した「ゾーン30」規制を導入する必要があること。
- 特に、西小学校エリア・福山城西側エリアにおいては、「通学路対策」及び「ゾーン30」規制導入への地元住民からの強い要望があるなど、地域住民からの要請に基づく施策でもあること。

福山駅前エリアにおける「ゾーン30」の導入

「ゾーン30」とは

生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域(ゾーン)を定めて時速30キロメートルの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度規制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策です。

施策の概要

『魅力とにぎわいのあふれる福山駅前のまちづくり』を実現するため、交通事故の起きにくい環境づくりの一環として、段階的に「ゾーン30」を導入し、歩行者に優しい交通環境を整備するもの。

施策の必要性

- 「福山駅前再生ビジョン」では、福山駅前エリアでの休眠不動産を活用したリノベーションや公共空間である道路を活用したイベントによって、魅力とにぎわいのある福山駅前を目指しているところですが、これを実現するためには、交通事故防止対策はもとより、歩行者に優しい交通環境の整備は絶対条件であり、道路管理者としての福山市、交通管理者としての警察の連携により、早急に「ゾーン30」の導入を進める必要があります。
- 本年2月には「元町エリア」において、3歳の女兒が犠牲となる死亡事故が発生しており、今後、同地区において、このような悲惨な事故を二度と起こさないためにも、その整備を優先的に進め、規制だけではなく、視覚的にも歩行者に優しく、また、魅力ある福山駅前エリアにふさわしい景観を有した「ゾーン30」を導入する必要があります。
- 特に、西小学校エリア・福山城西側エリアにおいては、「通学路対策」及び「ゾーン30」導入への地元住民からの強い要望があるなど、地域住民からの要請に基づく施策でもあります。
- ◎整備に向けては、地域住民の方等と協議・調整を行うとともに、地域の要望等を十分に踏まえて整備をしていく必要があります。

イメージ図

